フォークリフト IoTで管理 豊田織機マイクロソフトと、世界各地で効率化

日本経済新聞 地域経済

2018年3月14日 2:19 [有料会員限定]

豊田自動織機は米マイクロソフトと組んで全てのモノがネットにつながる「IoT」技術を使い、世界各地にあるフォークリフトを管理する取り組みを始める。車両の稼働状況などをきめ細かく集め、故障の予防や最適な人員配置などにつなげる。今秋をめどに世界共通のシステムを導入し、生産性向上や物流コスト削減を後押しする。

これまで独立していた日本と米国、欧州の3拠点のシステムを統一する。マイクロソフトのクラウドサービスを使い、グローバルに展開する企業のニーズにも迅速に対応できる体制を整える。投資額は今後5年間で20億円程度を見込む。

マイクロソフトと組み、世界各地にあるフォークリフトの稼働やバッテリーの使用状況などのデータを蓄積し、分析する。日米欧にある車両の状況や修理にかかる費用や履歴、耐用年数なども一目で把握できる。

拠点ごとに稼働頻度にばらつきがあれば台数を増減することで効率化できるようになる。今後、車両の稼働 状況に合わせて顧客に修理時期を伝え、スタッフが事前に整備し、故障を予防するサービスなどを想定して いる。コスト削減や作業効率の改善につなげる。

フォークリフトなどが外部と通信し、情報をやり取りする機能は「テレマティクス」と呼ばれており、世界で現在約10万台の車両が対応している。豊田織機は今後5年間で新型車両の約3割への搭載を目指しており「膨大なデータに対応できる強力なプラットフォームが必要」(伊藤寿秀理事)とみる。マイクロソフトのクラウドサービスは安全性が高いうえ、他のシステムとも連携がしやすいという。「リアルタイムで大量のデータをやり取りできる」(豊田織機)と安定性も優れており、同社は自社工場でも同じシステムを使う予定だ。

豊田織機は日本では2016年3月にフォークリフト向けの稼働管理システムを発売した。マイクロソフトと組む ことで世界規模でサービス提供できるようにして車両の製造や販売だけでなく、物流効率化の支援サービス まで事業拡大を狙う。

(高橋そら)



マイクロソフトと

世界各地で効率化

これまで独立していた | ークリフトの稼働やバッ | て顧客に修理時期を伝

豊田自動織機は2016年に売り出し た既存のシステムより多くのデータを蓄積、分析できるようにする (写真は同社提供)

み、世界各地にあるフォマイクロソフトと組 応できる体制を整える。 億円程度を見込む。 グローバルに展開する企 投資額は今後5年間で20 や履歴、耐用年数なども

相 きるようになる。今後、 い相 きるようになる。今後、 いれ を はらつきがあれば台数を いまして これ を しゅう はらつきがあれば台数を いました しゅう はらつきがあれば台数を いました しゅうしゅう 拠点ごとに稼働頻度に一目で把握できる。

台の車両が対応してい おり、世界で現在約10万 り取りする機能は「テレ 外部と通信し、情報をや マティクス」と呼ばれて

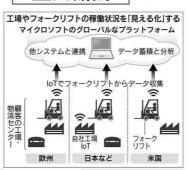
率の改善につなげる。 る。コスト削減や作業効 備し、故障を予防するサ え、スタッフが事前に整

フォークリフトなどが

ービスなどを想定してい

向上や物流コスト削減を後押しする。 なげる。今秋をめどに世界共通のシステムを導入し、 どをきめ細かく集め、故障の予防や最適な人員配置などにつ ットにつながる「IoT」技術を使い、世界各地にあるフォ ークリフトを管理する取り組みを始める。車両の稼働状況な 豊田自動織機は米マイクロソフトと組んで全てのモノがネ

豊田織機



安全性が高いうえ、他の トのクラウドサービスは 事)とみる。マイクロソフ きる強力なプラットフォ ムが必要」(伊藤寿秀理

> 世界規模でサービス提供 物流効率化の支援サービ 製造や販売だけでなく、 できるようにして車両の

の搭載を目指しており間で新型車両の約3割へ る。豊田織機は今後5年 膨大なデータに対応で ムで大量のデータをやりクロソフトと組むことで すいという。「リアルタイステムを発売した。 システムとも連携がしや 016年3月にフォーク システムを使う予定だ。 同社は自社工場でも同じ と安定性も優れており、 取りできる」(豊田織機) 豊田織機は日本では2 スまで事業拡大を狙う。 リフト向けの稼働管理シ

関連キーワード: コストダウン 事業拡大 豊田自動織機 マイクロソフト インターネット・オブ・シングス